



災害時避難所となる小中学校体育館の トイレを洋式化にすべき

答弁

大規模な改修工事の際に
整備したい

抜本的な改善は今後の大規模改修工事等の機会をとらえて整備していきたい。

議員

4年前の水害の経験から多くのことを学んだ。水害後の課題として、避難所の確保が叫ばれたが、新規の避難施設の建設は白紙状態にある。今回の台風19号の際、避難所として小中学校の体育館が使用されたが、避難所のトイレ状況について尋ねる。

教育部長

市内小中学校体育館65か所のうち洋式トイレは18か所、洋式化率27・7%、和式トイレは47か所で72・3%の設置率となっている。

議員

今回避難された方から、トイレの不便さについて苦情が寄せられた。避難所のトイレは洋式トイレがベストと考える。和式トイレから洋式トイレに全面的に改修する考えはあるか。

教育部長

学校の体育館に避難した方からトイレ環境の悪さを指摘する声が出ているのも事実であり、

岡野 一男 議員



関東・東北豪雨災害による 経験は生かされたのか？

答弁

一部ではあるが生かされた!!
していきたい。

議員

10月12日22時22分大雨特別警報に伴う避難の呼びかけがあり、その12分後に内容を訂正するかなのような放送があつたが、情報が錯そうした理由を伺う。

市長

特別警報が発令されたため、避難勧告がJアラートにより広域的に自動発信された。当市においては暴風域のピークの時間帯と重なったこともあり、今は避難すべきではないと判断し、防災行政無線により自ら垂直避難指示をした。Jアラート発信において、情報の錯そうにより市民を迷わせることのないよう、国土交通省・気象庁へ改善の申し入れを行った。

議員

行政がどんなに素晴らしい体制を整えようが地域がバラバラでは、十分な支援効果は望めない。災害時の基本は自助、共助その上での公助と考える。地域連携の重要性を強く訴えていきたい。

議員

台風19号への対応に、過去の経験や反省は生かされたのか伺う。

市長公室長

タイムラインに基づいて対策を講じたことが大きな点である。その他、特別警報発令前に災害対策本部を迅速に設置した点や、消防団の全地域への拡声器による声かけ、避難勧告以降はサイレンを鳴らした後情報伝達を行ったこと、さらに市長自ら防災行政無線で避難指示を行ったこと等がある。

議員

過去の経験、反省が生かされなかつた点はあるのか。

市長公室長

避難所の受入れについて、市民に対する協力依頼ができなかつた点は真摯に受け止めている。自助、共助の強化の観点から避難所の開設運営や、当市が始めた全国初の試みであるマイタイムラインの重要性を丁寧に説明

関 優嗣 議員